

## 平成 27 年度当初予算 施策 取組概要

### 134 薬物乱用防止等と医薬品の安全確保

(主担当部局 : 健康福祉部)

- |       |                  |         |
|-------|------------------|---------|
| 13401 | 薬物乱用防止対策の推進      | (健康福祉部) |
| 13402 | 医薬品等の安全な製造・供給の確保 | (健康福祉部) |
| 13403 | 生活衛生営業の衛生水準の確保   | (健康福祉部) |
| 13404 | 人と動物との共生環境づくり    | (健康福祉部) |

#### 県民の皆さんとめざす姿

さまざまな主体との連携により、薬物乱用防止や動物愛護について地域全体で取り組んでいます。また、医薬品や医療機器などの品質管理体制の整備により、医薬品等の安全が確保された社会が構築されています。

#### 平成 27 年度末での到達目標

多くの関係機関等と連携して普及啓発活動を行うことにより、薬物乱用防止や動物愛護に対する意識が向上しています。また、医薬品や医療機器などの製造から販売に至る一貫した監視指導を行うことにより、安全な医薬品等が供給されています。

県民指標		23 年度	24 年度	25 年度	26 年度		27 年度
目標項目	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	
薬物乱用防止講習会の参加者数(累計)	204,790 人	245,200 人	295,200 人	345,200 人			395,200 人
目標項目の説明と平成 27 年度目標値の考え方							

目標項目の説明	県等が行う薬物乱用防止講習会に参加した人数
27 年度目標値の考え方 (みえ県民力ビジョン記載内容を転記)	平成 20 年度以降実施してきた講習会の参加者に加え、今後、毎年度 5 万人ずつ参加者を確保し、平成 27 年度末で県内人口の 20% 以上をカバーするよう目標値を設定しました。

活動指標		23 年度	24 年度	25 年度	26 年度		27 年度
基本事業	目標項目	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値
13401 薬物乱用防止対策の推進(健康福祉部)	薬物乱用防止事業の協力者数	2,933 人	2,981 人	3,052 人	3,123 人		3,194 人
13402 医薬品等の安全な製造・供給の確保(健康福祉部)	医薬品等の検査件数に対する不適合医薬品等の割合	0%	0%	0%	0%		0%
13403 生活衛生営業の衛生水準の確保(健康福祉部)	生活衛生営業施設における健康被害発生件数	0 件	0 件	0 件	0 件		0 件
13404 人と動物との共生環境づくり(健康福祉部)	犬・猫の引取り数	3,373 頭	3,351 頭	3,285 頭	3,285 頭		3,285 頭以下

## 進捗状況（現状と課題）

- ①「平成 26 年度三重県薬物乱用対策推進計画」に基づき、警察本部、教育委員会等関係機関と連携して乱用防止の啓発、立入検査、再乱用防止等の薬物乱用防止対策を推進しています。また、保健所ごとに組織された各地区薬物乱用防止指導者協議会が中心となり、自主的、かつ地区の特色を生かした啓発活動を展開することができました。今後も引き続き、薬物乱用防止対策に取り組む必要があります。
- ②警察本部等関係機関と連携して危険 ドラッグ販売店舗への立入検査を行うとともに、その危険性について、危険 ドラッグ撲滅キャンペーン等で県民に対して啓発を行いました。引き続き関係機関と連携して取組を進める必要があります。
- ③医薬品等の安全確保のため、医薬品製造業者等に対して監視指導を実施していますが、今後も不良医薬品等の発生を防止するため、医薬品製造業者等の監視指導を行う必要があります。  
また、医薬品等の適正使用のため、くすりの相談テレホン等により、県民に対して医薬品等に関する情報提供を継続して行う必要があります。
- ④在宅医療の充実に向け、薬局・薬剤師の参画を促進するため、研修事業等を進めています。今後も引き続き取組を進めていく必要があります。
- ⑤教育委員会や血液センター等と連携して高等学校における献血セミナーの開催や啓発の実施、高校生献血啓発ボランティアであるヤングミドナサポーターを対象とした高校生献血推進会議を開催しました。  
将来にわたり献血協力者を確保するためには、引き続き若年層への取組が必要となります。
- ⑥生活衛生営業施設における健康被害の発生はありませんでしたが、レジオネラ菌による健康被害発生を防止するため、公衆浴場の自主衛生管理をさらに定着させる必要があります。
- ⑦動物愛護教室などの普及啓発活動、譲渡事業、引取り数を減らす取組等により、犬・猫の殺処分数は減少傾向にありますが、将来的に殺処分がなくなることをめざし、取組を強化することが必要です。また、動物愛護管理の普及啓発、犬・猫の殺処分数の減少、災害時対応及び県民との協創に必要な機能や動物愛護管理の取組体制等、動物愛護管理センターの機能充実について検討を行いましたが、具体的な方針を早期に決定することが必要です。

## 平成 27 年度の取組方向

- ①「平成 27 年度三重県薬物乱用対策推進計画」を策定し、引き続き、警察本部、教育委員会等関係機関と連携して乱用防止の啓発、立入検査、再乱用防止等に取り組み、薬物乱用防止に努めます。
- ②危険 ドラッグ対策については、関係機関と連携して、引き続き県民への啓発活動を実施するとともに、関係事業者への立入検査を実施し、違法脱法行為に対しては厳正・的確な対応をしていきます。
- ③医薬品等の安全確保のため、医薬品製造業者等に対する監視指導を行うとともに、県民に対して医薬品等の副作用や服用方法などに関する正しい知識の情報提供を進めます。
- ④薬局・薬剤師がチーム医療の一員として在宅医療に関わっていけるように、拠点となる薬局の整備や薬剤師のスキルアップ等を進めます。
- ⑤若年層に対する献血の取組として、引き続き高等学校における献血セミナーや啓発を実施していくますが、高校生献血推進会議で得た意見も参考にして、事業の充実を図ります。
- ⑥生活衛生営業施設に対して監視指導を行うとともに、レジオネラ菌による健康被害の発生を防止するため、公衆浴場における自主衛生管理をさらに促進します。
- ⑦第 2 次三重県動物愛護管理推進計画に基づき、動物の適正飼養について普及啓発等を行うとともに、殺処分数の減少をめざし、保健所での犬および猫の引取り数のさらなる減少や、譲渡事業、災害時のペット対策などに取り組みます。また、これらの動物愛護管理事業を進めるため、「三重県動物愛護管理センター」の整備に取り組みます。

## 主な事業

### ①薬物「ダメ。ゼッタイ。」みえ県民運動推進事業【基本事業名：13401 薬物乱用防止対策の推進】

予算額：(26) 4, 932千円 → (27) 5, 959千円

事業概要：麻薬、覚醒剤、危険ドラッグなどの薬物の乱用防止を推進するため、民間団体や関係機関と連携して、薬物乱用防止講習会などを実施するとともに、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動をはじめ麻薬・覚醒剤乱用防止運動等の啓発活動や再乱用防止対策に取り組みます。

### ②麻薬取締費【基本事業名：13401 薬物乱用防止対策の推進】

予算額：(26) 2, 430千円 → (27) 2, 793千円

事業概要：麻薬・覚醒剤等の不正使用や不正流通の防止を図るため、麻薬等を取り扱う施設の監視指導や危険ドラッグ等の販売店舗への立入調査を行うとともに、民間団体や関係機関と連携して自生しているけしの除去などに取り組みます。

### ③薬事審査指導費【基本事業名：13402 医薬品等の安全な製造・供給の確保】

予算額：(26) 9, 917千円 → (27) 12, 210千円

事業概要：医薬品等の品質、有効性、安全性を確保するため、製造業等の査察及び薬局・医薬品販売業等の監視指導を行います。

### ④薬局機能強化事業【基本事業名：13402 医薬品等の安全な製造・供給の確保】

予算額：(26) - 千円 → (27) 6, 262千円

事業概要：在宅医療の推進のため、訪問薬剤管理指導を行おうとする薬局への研修の実施や、衛生材料等の円滑な供給体制の整備など、薬局機能の充実強化を図ります。

### ⑤血液事業推進費【基本事業名：13402 医薬品等の安全な製造・供給の確保】

予算額：(26) 3, 358千円 → (27) 3, 387千円

事業概要：血液製剤の安定確保のため、三重県献血推進連絡会で献血者の確保に向けた意見交換・情報共有を行うとともに、若年層に対して、より効果的な啓発等の実施に努めます。

### ⑥生活衛生諸費【基本事業：13403 生活衛生営業の衛生水準の確保】

予算額：(26) 3, 117千円 → (27) 2, 500千円

事業概要：生活衛生営業施設等の監視指導、公衆浴場施設における自主衛生管理を重点的に推進するとともに、市町が引取者のいない死亡人の埋葬・火葬に要した費用について、「墓地、埋葬等に関する法律」に基づき負担します。

### ⑦動物愛護管理推進事業【基本事業名：13404 人と動物との共生環境づくり】

予算額：(26) 2, 760千円 → (27) 2, 644千円

事業概要：動物愛護管理体制の充実を図るため、関係団体等と連携し、動物愛護週間行事や動物愛護教室等を実施するとともに、動物による危害発生防止に取り組みます。

### ⑧（一部新）小動物管理費【基本事業名：13404 人と動物との共生環境づくり】

予算額：(26) 109, 034千円 → (27) 144, 957千円

事業概要：保健所に収容された犬および猫の譲渡・処分等を適正に実施するとともに、「三重県動物愛護管理センター」の整備を行うため、その設計に着手します。